

地域の声に寄り添い、奈良の魅力を高めるまちづくり

塚本まさる

Tukamoto Masaru
奈良市議会議員

議会活動報告



市北部のニュータウンから平城宮跡の中央部を南北に縦断する市道大極線「みやと通り」は比較写真Ⅱは、特に通勤時間の早朝など国道24号が混雑する時間帯に、渋滞を回避するために進入する車両が多く見られます。

「みやと通り」は道幅が狭く、車の対向が難しい道路で、たびたび接触事故も起きています。交通量が多いため、路面がボコボコで補修してもすぐに傷んでしまう状況です。雨が降ると水たまりができ、歩道の歩行者にも迷惑が掛かっていました。私はこの道路整備に對する市の考えをただし、全面的な改善を求めました。

これを受けて市は「みやと通り」について「これまで要望があれば応急処置で補修を行ってきた。この度、部分補修や応急処置では安全な通行の確保が困難であると判断して文化庁と協議し、舗装のやり替えであれば許可を得ることが可能になった」と説明。

奈良市議会の塚本勝は、令和6年度の議会活動の中で、世界遺産・平城宮跡を縦断する「みやと通り」の老朽化や改修について、応急処置ではなく抜本的な改善を求め、市は文化庁と協議の上、アスファルトのやり直しを行いました。またコロナ禍以降かつての輝きを失っている新大宮駅周辺の賑わいを取り戻す施策や、市の玄関口JR奈良駅のトイレの改修、消防力の向上などについて質問に立ちました。私の活動をご報告いたします。

老朽化する「みやと通り」 抜本的な改善求め、実現

断して文化庁と協議し、舗装のやり替えであれば許可を得ることが可能になった」と説明。北は県道から、南は近鉄踏切までの区間、地図参照Ⅱのアスファルト舗装のやり替え工事に市は着手し、凹凸のない道路比較写真Ⅱ参照Ⅱへと生まれ変わりました。

市の玄関口 JR奈良駅のトイレ改修を要望

JR奈良駅のトイレ=写真=は2011(平成23)年に開設されま



したが、24時間使用ができ、使用頻度が高いため老朽化が目立ってきています。私は市の玄関口にふさわしいものへと改修が必要だと市に指摘し、早急な整備を求めました。

市は「奈良市の玄関口であることから、清

掃の頻度は多くしているが、老朽化が目立ち、清潔感や安心感を抱いてもらえるトイレへ、間取りの見直し、スペースの有効活用、掃除のしやすい機器導入など施設の改修を含めて検討していく」と答弁がありました。

このほか、佐紀中町の市道にあるバス停前の側溝の蓋が危険なため地元の県議と共に改善を求め、改修しました。

